



2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月9日

上場会社名 オカモト株式会社

上場取引所 東

コード番号 5122 URL <https://www.okamoto-inc.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡本 邦彦

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 高島 寛

TEL 03-3817-4121

四半期報告書提出予定日 2024年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	79,400	8.4	8,018	49.7	9,487	51.1	7,005	77.9
2023年3月期第3四半期	73,247	8.7	5,356	21.5	6,279	23.3	3,938	27.1

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 11,943百万円 (51.5%) 2023年3月期第3四半期 7,882百万円 (27.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	398.47	
2023年3月期第3四半期	217.19	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	140,089	88,784	61.1
2023年3月期	127,176	79,099	59.8

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 85,662百万円 2023年3月期 75,995百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		55.00		55.00	110.00
2024年3月期(予想)		55.00		55.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	106,000	7.0	8,900	29.0	10,300	30.0	7,000	43.1	397.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	18,099,367 株	2023年3月期	18,599,367 株
期末自己株式数	2024年3月期3Q	545,608 株	2023年3月期	992,372 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	17,582,139 株	2023年3月期3Q	18,133,536 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料P3、「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染法上の5類への移行に伴い、行動制限が解除されて経済活動の正常化が進み、物価上昇の影響は少なくないものの、総合的には景気は緩やかに回復しています。

一方で海外に目を向けると、長期化するロシアによるウクライナ侵攻、中東地区をめぐる情勢の緊迫化、世界的な金融引き締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、依然として不透明な状況が続いております。

このような経営環境のなか当社グループは、引き続き事業環境の変化に柔軟に対応しながら、市場や顧客のニーズの変化を的確に把握し、国内外での積極的な営業活動及びコスト増に対応した価格改定を実施するとともに、当社の強みである技術力を生かした研究開発、原料調達コストの見直しや、生産の合理化・効率化に努め、競争力の強化に取り組んで参りました。

結果、当連結会計年度における売上高は79,400百万円（前年同期比8.4%増）となりました。営業利益は8,018百万円（前年同期比49.7%増）、経常利益は9,487百万円（前年同期比51.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は7,005百万円（前年同期比77.9%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 産業用製品

一般用フィルムは、価格改定を実施も市況が低迷し売上微減となりました。工業用フィルムは、海外向けステッカー用の復調により売上増となりました。建材用フィルムは、床材、鋼板用を中心に堅調に推移しましたが一部市場在庫が滞留し売上微減となりました。多層フィルムは、工業材料用の需要減少継続と、医療用の発注調整が影響し、売上減となりました。壁紙は、量産品の販売が好調で売上増となりました。農業用フィルムは、作物価格低迷などからの生産者購入欲低下により販売は苦戦しましたが、価格改定により売上増となりました。自動車内装材は、各自動車メーカーの生産台数が堅調に推移しているなか、新規車種向けの受注も加わり売上大幅増となりました。フレキシブルコンテナは、石油化学向けの需要が減少しましたが、期初に大口受注があり売上増となりました。粘着テープは、産業用テープの販売が持ち直し、売上前年並みとなりました。工業テープは、電材向けテープの需要減少が続いており売上減となりました。食品衛生用品は、食品用ラップは新規採用及び外食、イベント関連の需要が得て増加し売上増となりました。手袋はじめ衛生用品は売上微減となりました。食品用吸水・脱水シートであるピチット製品は、猛暑などの影響を受け漁獲高が不安定になり、食品加工向けが売上減となりました。研磨布紙等は、木工用の研磨布紙が得意先の在庫調整により減少しましたが、半導体向けの研磨材が伸長したことで売上増となりました。

以上により、当セグメントの売上高は53,202百万円（前年同期比11.7%増）、セグメント利益は1,633百万円（前年同期比665.8%増）となりました。

② 生活用品

コンドームは、外出者増加、訪日客増加、及び新製品の発売により売上増となりました。海外向けは、引き続き好調で売上増となりました。浣腸は、輸出は出荷スケジュール変更により減額しましたが、主要ドラッグチェーンからの受注が増え売上増となりました。除湿剤は、前年と比べて梅雨期間の降水量が多く店頭販売が好調に推移し売上増となりました。カイロは、前年と比べて気温が高く店頭販売が鈍化し売上減となりました。手袋は、炊事用（家庭用）は前年の大手得意先新規導入の反動で売上減となりました。産業用は価格改定により数量減となり、売上前年並みとなりました。医療用は政府による災害備蓄品放出の影響で売上減となりました。メディカル製品のうち滅菌器は、歯科ルートにて売上減となりました。ブーツ及び雨衣は、雨衣の取り扱いの縮小に加え、価格改定による店頭価格上昇で販売が鈍化し売上減となりました。シューズは、夏季に購買マインドの変化により高価格帯の需要が増加しましたが、ボリュームゾーンの中価格帯製品の需要が減少し売上減となりました。

以上により、当セグメントの売上高は26,002百万円（前年同期比2.0%増）、セグメント利益は7,717百万円（前年同期比19.6%増）となりました。

③ その他

その他事業は、物流受託事業及び太陽光発電事業であります。当セグメントの売上高（振替前）は2,582百万円（前年同期比2.9%減）、セグメント利益は290百万円（前年同期比11.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第3四半期連結会計期間末における総資産は140,089百万円で、前連結会計年度末と比べ12,913百万円増加しております。

流動資産は84,083百万円で、前連結会計年度末と比べ5,719百万円の増加となりました。これは主として、売掛金3,609百万円、現金及び預金1,470百万円が増加したことによるものです。

固定資産は56,006百万円で、前連結会計年度末と比べ7,194百万円の増加となりました。これは主として、投資有価証券4,474百万円、有形固定資産1,925百万円、無形固定資産738百万円が増加したことによるものです。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末における総負債は51,304百万円で、前連結会計年度末と比べ3,228百万円増加しております。

流動負債は37,766百万円で、前連結会計年度末と比べ1,435百万円の増加となりました。これは主として、支払手形及び買掛金1,784百万円が増加したことによるものです。

固定負債は13,538百万円で、前連結会計年度末と比べ1,793百万円の増加となりました。これは主として、繰延税金負債1,713百万円が増加したことによるものです。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産は88,784百万円で、前連結会計年度末と比べ9,685百万円増加しております。これは主として、利益剰余金3,115百万円、その他有価証券評価差額金2,999百万円、為替換算調整勘定1,823百万円が増加し、自己株式が1,715百万円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、最近の決算短信(2023年11月10日発表)により開示を行った業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	34,221	35,691
受取手形	2,097	1,834
売掛金	17,444	21,053
電子記録債権	7,802	8,306
商品及び製品	8,564	8,986
仕掛品	2,570	2,514
原材料及び貯蔵品	3,825	3,853
その他	1,878	1,886
貸倒引当金	△41	△43
流動資産合計	78,364	84,083
固定資産		
有形固定資産	20,997	22,923
無形固定資産	1,066	1,804
投資その他の資産		
長期性預金	1,300	1,300
投資有価証券	23,930	28,405
長期貸付金	930	1,043
繰延税金資産	156	154
その他	435	380
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	26,747	31,278
固定資産合計	48,812	56,006
資産合計	127,176	140,089

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,578	25,363
電子記録債務	2,088	2,333
短期借入金	3,318	3,391
未払法人税等	1,081	915
賞与引当金	1,037	573
製品保証引当金	72	56
その他	5,153	5,132
流動負債合計	36,330	37,766
固定負債		
長期借入金	100	144
繰延税金負債	3,666	5,380
退職給付に係る負債	7,209	7,275
その他	769	739
固定負債合計	11,745	13,538
負債合計	48,076	51,304
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,047	13,047
資本剰余金	555	564
利益剰余金	52,115	55,230
自己株式	△4,078	△2,363
株主資本合計	61,639	66,479
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,774	14,774
繰延ヘッジ損益	△1	1
為替換算調整勘定	2,526	4,350
退職給付に係る調整累計額	54	56
その他の包括利益累計額合計	14,355	19,182
非支配株主持分	3,104	3,122
純資産合計	79,099	88,784
負債純資産合計	127,176	140,089

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	73,247	79,400
売上原価	57,240	60,822
売上総利益	16,006	18,578
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	2,619	2,530
その他の販売費	1,970	1,970
給料及び賞与	2,900	2,858
賞与引当金繰入額	238	220
退職給付費用	125	99
その他の一般管理費	2,796	2,880
販売費及び一般管理費合計	10,650	10,560
営業利益	5,356	8,018
営業外収益		
受取利息	35	43
受取配当金	824	918
不動産賃貸料	407	427
持分法による投資利益	-	13
為替差益	-	94
その他	131	135
営業外収益合計	1,398	1,632
営業外費用		
支払利息	28	21
不動産賃貸費用	92	87
為替差損	146	-
持分法による投資損失	105	-
その他	101	55
営業外費用合計	475	163
経常利益	6,279	9,487
特別利益		
固定資産売却益	2	2
投資有価証券売却益	-	15
為替換算調整勘定取崩益	277	-
関係会社出資金譲渡益	649	-
特別利益合計	929	18
特別損失		
固定資産除却損	2	4
減損損失	828	220
投資有価証券評価損	38	-
子会社整理損	2	-
その他	22	10
特別損失合計	894	235

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
税金等調整前四半期純利益	6,315	9,270
法人税、住民税及び事業税	1,986	1,798
法人税等調整額	50	385
法人税等合計	2,037	2,184
四半期純利益	4,277	7,086
非支配株主に帰属する四半期純利益	339	80
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,938	7,005

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	4,277	7,086
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	859	3,009
繰延ヘッジ損益	15	4
為替換算調整勘定	2,712	1,831
退職給付に係る調整額	4	1
持分法適用会社に対する持分相当額	12	9
その他の包括利益合計	3,604	4,856
四半期包括利益	7,882	11,943
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,651	11,832
非支配株主に係る四半期包括利益	231	110

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の消却)

当社は、2023年5月12日開催の取締役会決議に基づき、2023年5月31日付で、自己株式500,000株の消却を実施しております。この結果、当第3四半期連結累計期間において利益剰余金及び自己株式が1,956百万円それぞれ減少しております。

(追加情報)

当社の持分法適用会社である森川産業株式会社、医療衛生用品卸売業などを会社分割により承継する株式会社MS準備会社の全株式をフジモトHD株式会社に譲渡する事を決定し、2023年12月25日に当該事項を契約締結しております。

当該契約による株式の譲渡は2024年3月頃を予定しており、当社の財政状態及び経営成績への影響は現在精査中です。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	産業用製品	生活用品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	47,633	25,497	73,130	116	73,247	—	73,247
セグメント間の内部売上高 又は振替高	80	385	466	2,544	3,010	△3,010	—
計	47,713	25,882	73,596	2,660	76,257	△3,010	73,247
セグメント利益	213	6,452	6,666	260	6,926	△1,570	5,356

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グループ内の物流事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,570百万円には、セグメント間取引消去33百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,603百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「産業用製品」及び「生活用品」セグメントにおいて、固定資産の減損損失828百万円を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において「産業用製品」773百万円、「生活用品」54百万円となっております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	産業用製品	生活用品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	53,202	26,002	79,205	194	79,400	—	79,400
セグメント間の内部売上高 又は振替高	89	368	457	2,387	2,845	△2,845	—
計	53,292	26,371	79,663	2,582	82,246	△2,845	79,400
セグメント利益	1,633	7,717	9,351	290	9,641	△1,623	8,018

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グループ内の物流事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,623百万円には、セグメント間取引消去32百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,656百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「産業用製品」及び「生活用品」セグメントにおいて、固定資産の減損損失220百万円を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において「産業用製品」174百万円、「生活用品」45百万円となっております。